

東部療育通信-2022年3月号-

入所と地域の障害児(者)の生活を支援するメールマガジン

発行東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

「街から薬が消えた」

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき誠にありがとうございます。
ございます。

今回のメールマガジンは、薬剤師からの情報提供及びお願いです。

最近、薬局で「いつものお薬が品薄で…」と言われたことはありませんか？

この数か月間、多くの方が普段から服用しているお薬が手に入らなくなってきています。

もう2年も前になりますが、日本では新型コロナウイルスの影響で、「トイレットペーパーがない!」「マスクがない!」というある種の“社会パニック”を経験しました。しかし今回は、生きていくために絶対に欠かすことのできない「クスリ」が不足しているのです。

すでに2021年12月時点で、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を中心に約3100品目が供給不足になっており、東京都にある94%の薬局が「納品が遅れて業務に影響が出る」と回答するなど、東京都にあるほとんどの薬局で必要な医薬品を入手しにくい状況が今も続いています。

不足している医薬品は多岐に渡りますが、特に、アレルギー薬や血圧を下げる心臓の薬、そして、当センター利用者で主要な薬剤となっている「てんかん発作を抑える薬」も不足しており、利用者の皆様にいつもと違うお薬への変更、散薬への変更など、ご負担をかけていると思います。

この前代未聞の大事件のはじまりは、一部の後発医薬品メーカーの不祥事により、多くの医薬品で製造が停止され、その影響が他の製薬メーカーでも徐々に拡がり、1年もの時間をかけて全国へ、連鎖的に拡大しました。加えて昨今の新型コロナウイルスの影響により、医薬品の輸入や流通が滞るなど、さらなる悪循環に陥っているといえます。現在大手メーカーで10~20%の増産を図っているのですが、現行の生産量を維持しながらの増産には限界があり、現状ではとても現在の市場における不足分を補えないことがわかっています。

厚労省の担当者は「すぐに増産するには限界があり、出荷が再開されることが望ましい」と話し、全品目の再開と回復までには2年程度の時間がかかるとの見通しを示しました。

「クスリがなくなることは、命に直結すること」です。

当センター内の薬局においても、全力で薬剤の確保に努め、また利用者の皆様に引

き続き最良の薬剤をお届けできるよう、地域薬局とも連携を深めておりますが、さらに円滑な連携が可能となるよう、皆様にもいくつかお願いしたいことがあります。

① 院外方せんは出来るだけ早く調剤薬局へご持参していただくようお願いいたします。もしくはFAX送信をご利用ください。

理由 → 早めに薬局で薬確保の準備をしていただくため。

また、薬局に在庫が足りない場合、処方せんの期限以内（発行日を含めて4日以内）に、在庫見込み等について薬局と主治医が相談をする時間が必要なため。

② かかりつけ薬局をご利用ください。

理由 → 現在、かかりつけでない薬局に処方箋を持参しても、はじめての患者を受け付けてもらえない可能性があります。

③ 残薬に余裕をもって受診してください。

理由 → 残薬に余裕があれば、その間に薬が手に入る場合があります。

また、災害時などの備えにも役立ちます。

以上 皆様のご協力を何卒お願い申し上げます。

診療部薬剤検査科 薬剤師 村井則之

今回のメールマガジンはいかがでしたでしょうか？

ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくお寄せください。

| I | N | D | E | X |

1：施設概要のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

2：ご利用案内のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/>

3：施設開放サービス

→http://www.tobu-ryoiku.jp/service/opening_service.html

4：薬剤検査科

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/department/medicineinspect.php>

| 施設概要

●東京都立東部療育センターは、重症心身障害児(者)の医療と療育を総合的に行う施設です。

●少子化が進行する中であっても、心身障害児(者)は減少しておらず、また、障害の程度は重度・重症化しています。更には、家族が高齢となったため家族介護

が困難で施設入所を希望している方も増えています。

●一方で、できる限り住みなれた地域で在宅の療育を望んでいる障害者や家族の方達は多く、その支援の充実を図ることが一層必要となっています。このような状況に対応するため、重症心身障害児(者)施設が整備されていなかった区東部地区に設置することにしました。

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

◆このメールはmsw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。

◆送信アドレスは配信専用です。お問合せやお手続きは下記よりお願いします。

東部療育通信

発行：東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先：<https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-25

TEL 03-5632-8070 / FAX 03-5632-8071

E-mail msw_trc@mtrc.jp

●配信をご不要の方は、下記URL にアクセスして下さい

<https://www5.webcas.net/gs/p/delete-user>

Copyright (C) TOBU RYOIKU CENTER. All Rights Reserved.